

子どもたちの登校を見守る安全パトロールと地域の皆さん

常盤台小学校の子どもたちの登校時には西門・南門・北門の他、大池道路の横断歩道で現在 9 名の安全パトロールのメンバーが順番に見守っています。他にも地域の中で、いろいろな形で子どもたちの登校を見守っています。今回はそれらを紹介します。



西門

ボランティア大募集

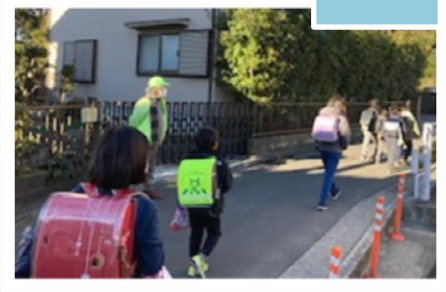
常盤台小安全パトロールでは一緒に活動して下さる方を募集しています。週 1 回朝校門での見守り活動です。
お問い合わせは常盤台小学校まで
TEL045-331-4808



南門



北門



住好自治会では、シニアの有志の方が毎日順番に子どもたちの登校につきそっています。佐藤さんは週 2 回活動しています。



峰岡三丁目町内会のシニアクラブでも有志の方が子どもたちの登校見守りをしています。4 年生の児童から感謝の手紙が届いたので紹介します。

気温の変わりやすい季節になりましたが、お元気ですか。いつもお世話になっている四年の清水朝渡です。いつも安全パトロールでぼくたちを守っていただきまして、本当にありがとうございます。いつもあのおうだん歩道のわたるサポートをしてもらって、とても安心感があります。地いきの活動も主にやっています。これからも地いきの活動や安全パトロールでぼくたちを守ってください。

六月十八日 清水朝渡

あいだ様



清水さんの手紙を持つ相田さん

民生委員と先生との懇談会

令和 3 年 12 月 23 日、常盤台コミュニティハウスで、保土ヶ谷中学校生徒指導専任の蛭田先生と常盤台小学校児童専任の萩原先生、民生委員と主任児童委員が懇談会を行いました。短い時間でしたが学校の様子や現状についてお話があり、地域の中で子どもたちを見守ることの大切さについて話し合いました。登校時の見守り・安全パトロールなどの地域の活動を大変感謝していますとのお話がありました。

編集後記

1 年間の活動をまとめました。
発行：常盤台地区社会福祉協議会

常盤台地区

だれもが参加したくなるまちづくり
みんなで作る きれいで安全・安心なまち



2022 年 3 月号



第4期 保土ヶ谷 ほっとなまちづくり 計画が完成しました！

第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画

常盤台 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 常盤台地区は、常盤台・峰岡町3丁目の約3,000世帯で構成されています。
- 地区の中心に横浜国立大学があるため、周辺に多くの学生が暮らしているほか、キャンパスや常盤公園など緑豊かな環境が多く残されています。
- 地区連合町内会は戸建て住宅中心の7自治会とマンションの3自治会、計10自治会からなり、住民層は幅広い世代にわたるだけでなく、若者の割合の多さも特徴的です。
- 2019年11月に相鉄・JR直通線が開通し新駅「羽沢横浜国大駅」が開業し、2022年下期に相鉄・東横線直通線の開通が予定されています。
- 駅周辺や常盤台地区内には大型商業施設等の開発が進んでおり、地区の生活環境が大きく変化していくと考えられます。

目指す地域の姿(スローガン)

だれもが参加したくなるまちづくり
みんなで作る きれいで安全・安心なまち

- 見守り・支えあい 安全・安心なまち**
 - ・長く住んでいる人も学生もみんなが「つながり」を持てるまち
 - ・さまざまな交流を通して顔の見え関係をつくり、おたがいさまで助け合うまち
- 安全・安心・きれいなまち**
 - ・みんなが防災・防犯に取り組むまち
 - ・ごみがきれいに片付いて木や花が手入れされていて、「歩いて楽しい明るい」まち
- いきいき健康で暮らせるまち**
 - ・幅広い世代に向けて様々な活動が活発に行われていて、気軽に参加することができるまち
 - ・みんなができる時にできる事をし、「自分の元気のもと」となるまち
- 担い手づくり・情報発信の充実したまち**
 - ・まちの魅力を世代に合わせて情報発信し、地域を知るきっかけをつくるまち
 - ・催し物を通して多世代が知り合うきっかけを作り、担い手を増やして「みんなで地域をつくる」まち
 - ・関係機関や活動団体との連携が活発に行われているまち

取組目標や具体的な取組

見守り・支えあい 安全・安心なまちづくり いきいき健康 担い手づくり情報
～5年後を目指して常盤台地区は次のような取り組みを進めていきます～

●これからも続けていく取り組み●

ありが隊 高齢者のお宅の掃き掃除や片付けをします。リピーターのお宅も増えてきました。今後はボランティアを増やしていきます。	食事会 自治会単位で隔月に開催しています。年1回常盤台地区全体で「ふれあい食事会」を開催しています。	子育てサロンパークヘン 毎月第2木曜日に常盤台コミュニティハウスで開催しています。季節ごとにイベントも開催しています。
情報の発信 「社協だより」を毎年2回発行しています。「地区社協ホームページ」でも情報を発信しています。	美化活動の強化 月一清掃、国大一斉清掃、美化オンラインの活動を支援していきます。中学生ボランティアも活躍しています。	体操 各地域で健康体操やラジオ体操に取り組んでいます。
横浜国大との連携 これまでも学生たちと繋がりを築いてきました。今後も学生たちにもっと地域を好きになってもらえるよう働きかけていきます。	その他にも、こんな取り組みを続けていきます 盆踊り・ワイワイまつり・もちつき・国大ワークショップ・救命情報カプセル・防災訓練	

- 新しい取り組み●
- 幅広い世代の参加
 - …中学生・国大生・定年後の男性など幅広い世代の方に地区の取り組みや行事に参加していただけるよう働きかけます。
 - …ICTを活用し、より若い世代に向けて地域を知ってもらう取り組みを行います。
 - まちの愛着を育てる活動
 - …地域の便利マップを作成し、まちの魅力や美化活動について情報を発信します。
 - …SNSを活用し、まちの皆さんの意見を取り入れながら、明るいまちづくりを目指します。
 - …サインづくりで歩いて楽しいまちをつくりたい。
 - …防災研修を通して災害時の自助共助の取り組みを進めていきます。

少子化・高齢化が進む中、福祉・保健のほか、防災防犯、祭りなどの行事をはじめとする地域の活動に幅広く取り組んでいくことも含めて、みんなで「つながり支えあい 安心していきいきと暮らせるまち」にするための計画が「保土ヶ谷区地域福祉保健計画」（愛称：ほっとなまちづくり）です。5 年毎に見直しながらか進めていき、第4期計画は令和 3～7 年度の取り組みです。

常盤台地区計画の策定にあたっては、たくさんの方々の意見を聴くため、WEB アンケートや自治会ごとのミニ集会なども行い、中学生や大学生の意見も取り入れました。

第4期計画は既に始まって約 1 年経ちますが、常盤台地区社協ではコロナ禍の中でもこの社協だよりでご紹介するさまざまな活動に取り組んできています。

「便利マップづくり」に YUC

ほっとなまちづくり第4期計画で、「地域の便利マップを作成し、まちの魅力や美化活動について情報を発信する」を新しい取り組みとしています。コロナ禍の中、それを1年目から進めてきました。常盤台地区独自のマップで、特にこの地域に引っ越してきた人、子育てしている人、大学生などに早くこの地域に馴染んで愛着を持ってもらいたいと願って作ります。ゴミの分別や災害時の避難場所、散歩にも使えるようトイレの場所、人気のお店、また特に大学生から要望が多かった年間行事予定も載せます。



そのプロジェクトに横浜国立大学地域課題実習プログラムの1つ YUC (Yokohama Univer-City) が全面的に協力してくれています。皆さんから多くの情報を集めるため、常盤台コミュニティハウスに大学生が発案した爪楊枝マップを置いて書き込んでもらいました。これも活かしていきます。出来上がりは今年夏ごろを目指しています。



アグリッジ 【農業による地域活性化を目指し活動する国大地域課題実習プログラム】

毎年アグリッジが国大近くに借りている農園で地主の藤巻さんのご指導の下、種まきから収穫まで、地域住民も参加させていただいています。今年は11月の収穫に参加しました。どれも大きく育ち、味もとても美味しいものになりました。取れた野菜は大学内で販売される他、常盤台コミュニティハウスでも販売され好評です。



ほどワゴン 屋根づくりワークショップ開催!

お祭がなくなり、出番が無くなった横浜国大生のほどワゴンですが、まず地域の子もたちに知ってもらおうと、1月20日から26日まで常盤台子供の遊び場公園で子どもたちと遊びました。その時に屋根づくりのワークショップの案内をしたので、当日(2月20日)は多くの子どもたちが参加しました。



屋根を飾る絵を書いています。

支え合いボランティア ありが隊 活動報告

今年は、春シーズン10軒14回、秋シーズン9軒11回、一般のお宅と常盤台地域ケアプラザの庭の手入れを行いました。毎年、春と秋、草刈りと伸びた枝払いを依頼してこられる常連さんも数軒あります。



作業の様子

日程はお宅のご都合と、ボランティアの集まる人数で決めます。多い日は10人くらいで作業します。あまり高い木はできませんが、枝払いと草刈りをやります。たいてい、9:30に始めて12:00までには終わります。

きれいになった常盤台地域ケアプラザの庭



ボランティア大募集中です。一緒に汗を流しましょう



留守番電話にしましょう

特殊詐欺にあわないための対策は、電話に録音装置を取り付けるのが効果的。「この電話は録音しています」という声を流すだけでも撃退できます。録音装置がなければ、常に留守番電話にしましょう。今の時代、留守電にしても失礼ではないのですよ。



国大一斉清掃活動

毎年5月と10月、大学祭の前に大学内と隣接した地域を大学生、大学職員、教員、地域住民と一緒に清掃します。時間になると大学生や職員が一斉に竹ぼうきやちり取りを持ってきて掃除を始めます。地域でもたくさんの方が参加し、みるみるうちにきれいになっていきます。コロナ禍のため、いつもの大学祭はできませんが、きれいな大学ときれいなまちは気持ちがいいですね。



保土中生による地域清掃活動

保土ヶ谷中学校では福祉委員会が呼び掛け様々なボランティア活動をしています。常盤台地域では定期的に地域の清掃をしています。5/26 横浜国大東通用門から常盤台第一公園との間の道、10/27 常盤公園、12/13 常盤公園の3回行いました。毎回20人~30人が参加して1時間程度活動してくれます。地区の環境事業推進員が道具やゴミ袋を用意しますが、生徒たちが喜んで参加してくれ、道や公園がとてもきれいになります。これからもよろしくお願ひします。

バームクーヘン活動紹介



子育てサロンバームクーヘンは常盤台地区社協の補助金で、地区主任児童委員が常盤台コミュニティハウスと共催で開催しています。

12月9日ハッピークリスマスの会を開催しました。今年度はショコラッティさんの楽しいコンサート。常盤台小の読み聞かせボランティア(えころった)のメンバーが紙芝居と大型絵本を読んでもくれました。最後にサンタさんが登場してプレゼントを配りました。



かるがも手形アート

3月10日に毎回好評をいただいているかるがも手形アートの会を開催しました。



今年度は月2回(第2木曜日と第3、4木曜日)プレイルームで開催してきました。毎回、季節に合わせた絵本、楽しいしかけ絵本など20冊ほどの絵本を用意しました。子どもたちが自分で読みたい本を選んでお母さんや、時にはお友達のお母さんに持って行って読んでもらっていました。ひとりのお母さんが読み始めると自然と子供たちが集まっていくこともありました。これからたくさんの絵本を届けていきたいと思えます。



サインづくり推進会の活動紹介

羽沢横浜国大駅の開業に伴い、羽沢地区自治連合会(羽沢第一・羽沢南町内会/羽沢星が丘自治会)常盤台地区連合町内会(北部・住好・西部・中部・東部自治会)、羽沢地区・常盤台地区社会福祉協議会、常盤台地域ケアプラザ・常盤台コミュニティハウス、横浜国立大学建築計画研究室の15団体で正式名称「羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会」がスタートしました。駅前の開発により町が大きく変わろうとしている今、新たな周辺地域のまちづくりも必要と考え、羽沢・常盤台に住む人々が地域に愛着を持って暮らせることを目標に、まずは、地域を知ってもらうための5種類のサインづくりを進めています。

- ① 坂・道愛称サイン
- ② 地域の特産品・歴史紹介サイン
- ③ ギャラリーサイン
- ④ バリアフリー警報サイン
- ⑤ 地図付きサイン



月1回の定例会の様子



地域まちづくりニュースは現在5号まで発行されています。該当の地域の方には全戸配布されています。歴史紹介のコーナーは羽沢・常盤台の興味深い歴史が載っています。コミュニティハウスにおいてありますので是非ご覧になってください。

横浜国大生への食支援

保土ヶ谷区社協が実施している国大生へのあったかほどがや食支援活動に常盤台地区社協も協力しました。7月1日と12月17日に前日準備も含めお手伝いしました。それぞれ事前に申し込みをした約200人の学生にお米などの食料品や日用品などを配りました。



赤い羽根共同募金街頭活動

例年10月1日に和田町駅前常盤台地区の民生委員が行ってきた街頭募金活動ですが、今年度は、台風直撃のため日程を変更して11月11日に実施しました。昨年同様呼びかけをせず、CDで音声を流しました。募金は地域の福祉活動に使われます。ご協力ありがとうございます。



自治会ごとの食事会

コロナの中で一番困ったのは食事会でした。毎年常盤台ケアプラザとコミュニティハウスの会場を使って11月に開催してきた「ふれあい食事会」は2年続けて中止にしました。

コロナ禍になって、外に出て人と顔を合わせて話をするのがなくなると、介護を受けている高齢者の介護度が上がってしまったということに耳にし、なんとかしなくてはと民生委員の中でも話し合ってきました。

自治会ごとの食事会はこれまでもそれぞれ開催方法や内容が違っていました。今年度はお弁当をお持ち帰りにしたところが何か所がありました。同時に懇親会も1時間ほどやってお喋りしてもらいます。食事会を開催する回数が減ったのでちょっと豪華なお弁当にしたところもありました。

また食事会をした自治会もありました。自治会館に広く座って紙芝居や読み聞かせを地域の人にやってもらい、食事の時は仕切り版で隔てて静かに、終わったらマスクをしてお喋りです。参加者からは、出て行ける行事がどんどんなくなる中、少しでもこんな機会を作ってくれて嬉しいという声がありました。



いきいき体操

今年度も昨年同様ケアプラザの多目的ホールで回数は少ないものの音楽に合わせたストレッチやタオルを使った3B体操を10名前後で行ってきました。北部自治会の原さんは、コロナが落ち着いたら、また、みんなに声をかけて楽しく活動したいと言っていました。



参加者の声
こうして皆さんと一緒に体操するのが本当に楽しいです。



横浜市版民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」

こんにちは
よこはまミンジーです

横浜市の民生委員・児童委員のキャラクターが決まりました。これからポスターなどで、民生委員の活動紹介をしていきます。よろしくおねがいします。

ときわカフェ

2021年11月、実に1年10カ月ぶりに開催しました。今年から、ときわカフェは常盤台コミュニティハウスが中心になって開催してくださっています。感染対策として、テーブルに透明シートをつけ、中部自治会から透明な仕切り版もお借りしました。これまでのときわカフェは、1つのテーブルに大勢が集まってワイワイと賑やかでしたが、今はそれができません。それでも皆さんはマスク越し、仕切り越しにおしゃべりを楽しんでいました。



オレンジカフェ クリスマスコンサート

12月24日、ときわカフェはケアプラザの地域包括支援センターと一緒にクリスマスコンサートをしました。常盤台地域ケアプラザ相談医の黒田先生がご家族でクリスマスの曲を演奏、合唱してくださいました。プロの歌手の方々かと思うほど皆さんとてもきれいな声で素敵なコンサートでした。地域包括支援センターのスタッフの皆さんがフラダンス風の歌と踊りも披露し参加者を喜ばせてくれました。



あんしん訪問

これまでのように頻りに訪問ができないでいますが、電話をかけたり、体操やお弁当お持ち帰り会でお話したり、できる人にはメールしたりと様々な方法でお元気かどうかお訪ねしています。今年は「留守電にしましょう」を皆さんに呼びかけ、冬はマスクをお渡ししました。

